

■ 弘前市大字下白銀町2-1(追手門広場内) ■ TEL 0172-37-5505 ■ 開館時間/午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
 ■ 観覧料/(一般)100円・(小・中学生)50円 ※弘前市内の65歳以上、市内の小・中学生、市内の留学生、市内外の障がいのある方、ひろさき多子家族応援パスポートをお持ちの方は無料です。

第48回 企画展 文学紀行 一青森県の名湯

4月1日(月)～令和7年3月21日(金)

幸田露伴、田山花袋、若山牧水、竹久夢二……、明治以降、名だたる文人墨客が青森県の温泉地を訪れ、その魅力を詩情豊かな文章に書き綴ってきました。滾々と湧き出る温泉、人里離れた閑静な宿、情緒あふれる街並み、得も言われぬ山水の美観・奇観……、温泉地ならではの風景が「旅人のまなざし」で情感豊かに描かれ、日ごろ見慣れた景色が新たな魅力をもって迫ってきます。

また、青荷温泉の丹羽洋岳、大鰐温泉の増田手古奈のように温泉地に暮らした文人や、故郷から遠く離れた蕨温泉を終の棲家とした大町桂月のように、「生活者のまなざし」で温泉地を描いた詩文にもまた心惹かれるものがあります。

本展は、これらの文学作品、紀行文などを通して、本州最北端・青森県の温泉地の魅力にあらためて迫るものです。



水上勉 『北国の女の物語 上』 昭和47年



大町桂月『蕨温泉帖』

第48回企画展
文学紀行 一青森県の名湯

4月1日～3月21日

幸田露伴 大町桂月 田山花袋 与謝野晶子 秋田雨雀 若山牧水 吉川英治 井上靖 北島八穂 太宰治 三浦哲郎 今官一 佐藤紅緑

弘前市立郷土文学館
開館時間 9:00～17:00(入館は16:30まで)
観覧料 一般100円、小・中学生50円
〒030-0130 青森県弘前市大字2-1 弘前市立郷土文学館
TEL 0172-37-5505 FAX 0172-37-5506 E-mail hirosaki@city.hirosaki.jp

スポット企画展

没後80年 岩谷山梔子 展

4月17日(水)～7月8日(月)

青森県の近代俳句を代表する俳人・岩谷山梔子(青森市出身)。河東碧梧桐らに師事し中央俳壇で活躍した山梔子の句帖や短冊などの直筆資料を中心に、その俳句の魅力を紹介しつづけます。

「細章の蘭に似てすし知らぬ艸」
「山梔子春夏秋冬より」

「はるの山いくつこゆれハ都かな」
「山梔子春夏秋冬より」

『岩谷山梔子第一句集』
大正13年

文学散歩

大鰐温泉せせらぎ編

平川のせせらぎを聞きながら、文学作品の舞台となった大鰐の街を巡ります。

5月11日(土) 10:15現地集合 12:00解散予定

- 講師 櫛引洋一(弘前市立郷土文学館 企画研究専門員)
- 集合・解散場所 JR大鰐温泉駅前 定員 15名(お申込先着順)
- 主な見学場所 増田手古奈の医院跡地、大町桂月歌碑(加賀助旅館跡地)、ヤマニ仙遊館など
- 4月11日(木)9時より郷土文学館窓口またはお電話でお申込みください。TEL 0172-37-5505
- ※定員になり次第受付を終了します。

参加費 無料

- *飲み物、雨具、帽子、タオルなどは各自でご用意ください。
- *当日は歩きやすい服装でお越しください。
- *小雨決行。雨天時は鰐come研修室で座学(11:30終了)。
- *自家用車の場合、駐車料金は各自負担。
- *レクリエーション保険は郷土文学館で加入済。

郷土文学館2F ラウンジ Information

日時 毎月第1・3土曜日 午後2時～3時
参加料 観覧料 ※但し、5月18日(土)は平田小六の文学忌につき無料開館

ラウンジのひととき

- 5月4日(土) オーボエとチェロの二重奏
出演:工藤隆久(オーボエ)、菊地謙太郎(チェロ)
- 6月1日(土) 青森県の温泉が舞台の作品を読む
出演:語る会(下川原久森、今ゆき子、長尾勝文)

定員 各回20名様(お申込み先着順) ※定員になり次第受付を終了
各開催日の1ヶ月前より受付いたします。
申し込み 郷土文学館の窓口またはお電話でお申込みください。
TEL 0172-37-5505

北の文脈文学講座

- 5月18日(土) 湯けむりの里、文人のまなざし
講師:櫛引洋一(企画研究専門員)
- 6月15日(土) 岩谷山梔子 愛と旅の句
講師:館田勝弘(青森県郷土作家研究会代表理事)

「文学忌」
「文学忌は弘前ゆかりの作家11人の各忌日に行い、その作家の特別展示をロビーで開催いたします。」
また、忌日は無料開館とし、朗読・講話を行います。

5月18日(土) 平田小六
6月3日(月) 佐藤紅緑

土手町コミュニティパーク Information

4/8(月) OPEN!

KADARU+ (カダルプラス)

勉強、リモートワーク、会議、バーチャルオフィスに

—個室スペース完備で集中力&効率UP!—

2021年12月にオープンした、株式会社ストラテジーテック・コンサルティング(以下、STC)が運営する coworking space「Kadaru@Cafe(カダルカフェ)」が、新たに「KADARU+(カダルプラス)」としてオープンします!土手町通りの路面側の区画に移転したことで更にフロアスペースも広くなり、よりご利用しやすくなりました!さらに、周囲を気にせずWeb会議等ができる個室スペースや、複数での会議に適した個室会議室を完備!地元の学生さんはもちろん、出張やワーケーション、観光、帰省で弘前を訪れた方にも快適にご利用いただけます。



勉強・仕事集中 coworking space
KADARU+

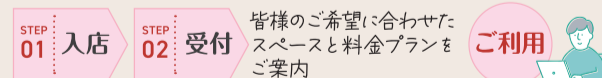


主なサービスとプラン

個室付き coworking space
貸会議室 バーチャルオフィスの提供

- 学生(中学・高校生・大学生等)は、**無料**
- 飲食の持ち込みや、途中の退出もOK!
勉強や仕事の息抜きに、土手町でのお買物やお食事、街歩きなどお楽しみください。
- 会員登録でいつでもスペースを使用できる、便利な月額会員制度もあります

ご利用は簡単! ※事前に[ご予約フォーム]もご利用いただけます。



IT業界への就職相談、起業支援等もおこなっています。お気軽にKADARU+のスタッフにお声がけください。

TOPICS 関連図書のご紹介

「弘前市をデジタルイノベーションシティに」
IT・DXで地方創生!企業・住民・自治体が一丸となったプロジェクトの軌跡を綴った一冊

「地方創生」
著者:三浦大地(弘前市出身) 株式会社ストラテジーテック・コンサルティング 代表取締役社長
出版:クロスメディア・パブリッシング

弘前市土手町31番地 土手町コミュニティパーク・B館
営業時間 9:30～18:30 ※18:30以降ご利用希望の方はスタッフまでお声がけください。 お問合せ 0172-26-8775

オープン記念 Event

4/5(金) 15:00～

会場 土手町コミュニティパーク・多目的ホール

りんご娘ミニLIVE・STC×りんご娘トークショー



りんご娘がインタビューとなり、STC代表取締役社長の三浦が目指す「地方創生」をテーマに、新たにオープンするKADARU+が提供するサービスを紹介します。りんご娘が所属するリングミュージックとの今後の展望についてお話しします。

4/5(金) 14:30～より
入場券を配布します。(先着順)

観覧方法 配布場所 KADARU+(カダルプラス) 土手町コミュニティパーク・B館 (アップルウェブスタジオ横)

※観覧ご希望者数によっては入場を制限する場合があります。ご了承ください。
※イベントの写真撮影、動画撮影はご遠慮ください。